

# 高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の  
天然記念物

## 関係のある情報

- 【場所】倉敷市玉島黒崎
- 【時代】樹齢約200年
- 【指定年月日】昭和46年4月16日
- 【所有】本性院
- 【見学】可



## あまがさのまつ 雨笠の松

かんけい しまち  
関係する市町

くらしき し  
倉敷市



## この天然記念物について

雨笠の松は、玉島黒崎の沙美海岸近く、本性院境内にある松で樹齢は約200年と考えられています。幹廻り2.7m、根本周囲3.6m、樹高5.5mで、枝張りは東西南北とも約16mにわたり、その周囲は50mにも達します。

安永年間（18世紀）本性院の第14世真寛上人が近くの山から移植したと伝えられ、第17世実亮上人のとき、先端を止めて笠の形に整え、それ以来中央が盛り上がり円くなったとされます。

「雨笠の松」という名は、嘉永元年（1848）にこの地を訪れた備前の儒学者雲岳が名づけたといわれており、興譲館の坂田警軒は「団葉巧みに笠を模す。」と詠みました。

その他にも、三島中州（リンク要）、井上円了等の賛が寺に残されています。